

会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和 8 年 2 月 2 4 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

会 派 名 (真志会)

高島市議会議員 1 1 番 澤 本 長 俊

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号3)	長期財政計画から見る今後の市政運営について
発 言 事 項	
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
	<p>先日、令和3年度から12年度までの高島市長期財政計画の改定計画で、令和7年度から16年度までの新たな計画が示されました。</p> <p>その時の説明では、将来の財政見通しを可能な限り明らかにし、長期的な展望に立って、将来に責任が持てる持続可能な高島市の実現に向けて健全な財政運営を行うためとのことでした。</p> <p>そこで、本計画の実現性について、絵に描いた餅になっては、全く意味のないものになりますし、将来の行政運営にとって、誤った方向に進むことになってはいけなと考えることから、確認しておくべき事項について、以下の質問をさせていただきます。</p> <p>① 人件費の抑制について</p> <p>事業見直しや公共施設再編などにより人件費総額毎年2500万円の削減との目標ですが、事業見直しおよび公共施設再編をすることで、どのように人件費の削減になるのか解りづらいです。人件費の削減を進めるには、職員数を減らすか、給料ベースの減額しか考えられないと思いますが、人件費の抑制についての考え方を問います。</p>

② 物件費の抑制について

公共施設の再編および事務事業の見直しをすることで、事務事業見直しで毎年2%、公共施設再編で毎年5000万円の削減との目標ですが、どのように削減につながっていくのか解りづらく全く見えてきませんので、どう削減につなげていくのか考えを問います。

③ 維持補修費の抑制について

公共施設の再編により、毎年2%の削減とのことですが、公共施設再編での物件費の抑制と、維持補修費での抑制と、違いがあるのか解りづらいので、解りやすく考え方をお聞きします。

④ 補助費等の抑制について

補助金の見直しにより毎年2%の削減とのことですが、毎年チャレンジする事業補助も必要であると考えます。単年度なら全事業の見直しにより2%削減は可能かと思いますが、毎年となるとさらに、さらに、ということになります。どのように見直していくのか考え方を問います。

⑤ 事業会計について

水道事業、下水道事業については、人件費および物価高騰等により、今後厳しい経営状況が予想されることから、経営戦略の見直しを行うとのことですが、受益と負担の原則から、使用料の見直しも考えるということなのか、それとも一般会計から繰り出して安定維持をしていくのか考え方を問います。

病院事業については、基準外繰り入れも検討とのことですが、現時点でも約6億円の歳入と歳出で歳入不足が生じていますし、来年度以降もさらに歳入不足額は増えるのではと予測できます。現体制で安定経営を進めるには、現時点で考えても単年で6億円、10年で60億円の基準外繰り入れが必要となります。このまま現病院の体制を維持し守っていかれるのか、それとも大きな体制改編を進める必要があると考えておられるのか、今後の病院運営に対する考えを問います。

また病院事業管理者には、病院の現経営状況をどのように受け止め、今後、どのように経営改革を進めようと考えておられるのか問います。

⑥ 基金残高について

計画期間中の財源不足分は、主に財政調整基金から繰り入れを見込んでおられます

が、財政調整基金の残高の確保は、災害など緊急時の対応のためには、一定の額が保持されていなければならないと考えますが、この計画では14億円程度となっています。財政調整基金に対する基本的な考えについて問います。

また目的基金については10年で半減される計画ですが、このことについても基本的な考えを問います。

⑦ 公共施設再編計画について

今回の長期財政計画を進めるにあたり、公共施設再編計画の進捗が大きく影響することが、これまでの説明で読み取れます。しかし、その公共施設再編計画の具体的な計画が見えていません。長期財政計画の策定には、この公共施設再編計画の具体的計画も策定されていなければ、まさに絵に描いた餅になってしまうのではと考えます。公共施設再編計画の少なくとも10年間の具体的計画はできているのか問います。